

# 第4学年 社会科学学習指導案

## 1 小単元名 「小石原焼のひみつ」

## 2 小単元の構想

### こんな子どもだから（子どもの実態）

#### ○関心・意欲・態度

本学年の子どもたちは、自分たちが住んでいる福岡県の地形や産業に対する興味・関心が高く、それらを意欲的に調べる姿が多く見られる。また、福岡県内に小石原という場所があることや、そこで小石原焼が作られていることは知っているが、小石原焼が320年以上も続けられていることや、小石原焼がこの場所で作られている理由などは知らない。

#### ○資料活用・表現・コミュニケーション能力

目的に沿って資料を家や図書室から集める姿は多く見られる。また、資料からわかったことや自分の考えを発言することはできる。しかし、自分の考えを筋道を立てて表現したり、自分と友達の考えを比べたり、つなげたりしながら発言することが苦手な子が見られる。教師の支援や友達の表現方法を取り入れながら、表現力を高めていこうとする態度は見られる。

#### ○知識・理解、社会的な見方・考え方

これまでの学習で、自分たちが住んでいる福岡県の地形や産業などの概要とその特色を理解することができている。しかし、人々が自然を生かして暮らしていることなど、地形や産業の特色と人々の工夫や努力、思いや願いとを関連付けて考えようとする社会的な見方・考え方は十分育っていない。

### こんな教材で（教材の価値）

#### ○地域の特色や人物の生き方

本小単元では、福岡県小石原地区の伝統的工芸品「小石原焼」を取り上げる。小石原は焼き物に適した原料が豊富で、伝統的な技術を生かして焼き物作りが続けられている特色ある地域である。また、焼き物作りにはげむ窯元や、村の発展に尽くす人々の姿にふれることができ、小石原焼とそこに住む人々の願いを感じることができる教材である。

#### ○資料活用・表現・コミュニケーション能力

本小単元では小石原の窯元や役場の見学を設定することで、小石原の「原料となる自然」「窯元さんの工夫や努力」「村の人の協力」の様子について具体的に調べ、表現することができる。また、それらの関連を考え、話し合う活動を仕組むことで、効果的に自分の考えを表現し、高める子どもたちの姿が期待できる。

#### ○知識・理解、社会的な見方・考え方

小石原の自然条件を生かして焼き物作りの伝統を守るために工夫や努力をする窯元の姿や、村を発展させようと協力する人の姿から、小石原の人々のくらしを理解することができる。この学習を通して、県内には地域の特色を生かしながら人々がくらししているという社会的な見方・考え方を育てる上でも意義深い。

### こんな支援を（学習活動の支援）

#### 【つかむ段階】

出合いの場面では、教師が作った焼き物と小石原焼（窯元のH(GT)さんの作品）とを比べ、小石原焼に対する関心を高めさせる。さらに小石原の地形の様子がわかる写真や、民陶むら祭で賑わっている様子のビデオなどを見せることで、「どうして小石原地区でさかんに焼き物が作られているのか？」という疑問から学習問題につなげていく。

予想する場面では、「原料となる自然」「窯元の工夫や努力」「村の人の協力」の3つに分け、それぞれの追究の視点を明確にしていく。

#### 【さぐる段階】

実際に小石原に見学に出かけ、小石原の自然や村の様子などを具体的に調べられるようにする。また、窯元のHさんや村役場の方と触れ合う場を設定することで、村の人の思いや願いを感じ取ることができるようにする。

#### 【まとめる段階】

3つの追究の視点ごとに発表し合う場面を設定し、学習問題のこたえを明らかにしていく。さらに3つの視点の関連について話し合う場面を設定し、焼き物作りの意味や役割を考えるようにしたり、村の人の地域に対する誇りと愛情を感じとったりすることができるようにする。

### こんな子どもに（小単元の目標）

- 小石原の様子に関心をもち、小石原の産業や自然、人々のくらしを意欲的に調べることができる。（関心・意欲・態度）
- 小石原で焼き物作りがさかんなわけを、原料となる自然、窯元の工夫や努力、村の人々の協力と関連づけて考えることができる。（思考・判断）
- 小石原焼や小石原の人々のくらしについて見学や調査をして調べ、調べたことをわかりやすく表現したり、話し合ったりすることができる。（資料活用・表現・コミュニケーション能力）
- 小石原に住む人々が原料となる自然を生かし、伝統を守り続けるために工夫や努力をしたり、協力したりして小石原焼は作られていることを理解することができる。（知識・理解）

### 3 小単元の構成図

#### 【小単元のねらい】

福岡県小石原地区では320年以上もの間、小石原焼という伝統的工芸品が作り続けられている、県内でも特色ある地域である。

小石原焼は長い伝統があり、今でも多くの人々から親しまれているのは、次のような3つの理由がある。豊かな自然条件という固有の風土を生かしていること、窯元の工夫や努力によって古くから伝わっている技術や技法が守り受け継がれていること、小石原焼を守り発展させようと村の人たちが協力していることの3つである。この3つの理由はそれぞれに関連しており、小石原焼に欠かすことができないものである。

小石原でくらす人々は、小石原焼を大切に思い、くらしの糧としながら小石原焼の発展とともに歩んでいる。

#### 【考えること】

小石原は、焼き物に適した土や上薬の原料となるわら灰や木灰がすぐ手に入る自然環境である。また、陶器を焼き上げるためのまきも豊富にあった。

これらの自然条件を生かして小石原焼が作られている。

(原料となる自然)

窯元たちは、小石原焼の技術など320年以上の伝統を守り受け継ぐとともに、できるだけ多くの人に使ってもらえるように工夫や努力をしている。このような小石原焼に対して、窯元たちは愛情と誇りをもって作品作りに取り組んでいる。

(窯元たちの工夫や努力)

小石原でくらす人々は、できるだけ多くの人に小石原焼のことを知ってもらい訪れてもらうために、小石原焼の施設をつくったり、イベントを開いたり、宣伝・広報活動に取り組んだりしている。小石原焼を中心とした村づくりに取り組み、小石原焼を大切に思いながらくらししている。

(村の人の協力)

#### 【調べる事実】

##### ○地形や位置

- ・福岡市から見て南東
- ・福岡市から約45km
- ・大分県との県境
- ・山に囲まれた地形

##### ○陶土

- ・焼き物に適した土

##### ○上薬

- ・わら灰(田んぼから)
- ・木灰(木から)
- ・長石(近くの朝倉から)
- ・さび土(鉄を含む土)

##### ○まき

- ・山に囲まれていて、たくさんのお木があり、十分なまきが手に入った。

##### ○独特の技法

- ・はけめ
- ・くしめ
- ・飛びかん

##### ○道具の工夫

- ・形作り(鹿の皮、木のへら、とんぼ)

##### ・電動ろくろ

- ・ガス窯
- ・粘土をこねる機械

##### ○窯元の努力

- ・陶土をうまくこねられるようになるまでに3年
- ・陶土を作る努力
- ・天日干し
- ・焼く(難しい温度調節, 30時間つきっきり)
- ・今の時代にあった作品

##### ○窯元の思いや願い

- ・326年の伝統を受け継ぐ
- ・小石原焼に対する思い
- ・多くの人に知ってもらい、使ってもらいたい

##### ○民陶むら祭

- ・ポスターやちらし
- ・ホームページ作り
- ・駐車場の確保
- ・祭への協力

##### ○絵皿コンテスト

- ・宣伝
- ・補助金

##### ○施設

- ・伝統産業会館
- ・道の駅
- ・ギャラリー小石原

##### ○広める活動

- ・△△△△会
- ・小石原焼の紹介ビデオ

##### ○村の人の思いや願い

- ・小石原焼に対する誇り
- ・多くの人に知ってもらいたい

##### ○くらしの糧

- ・焼き物の売上高
- ・焼き物作りに関係する仕事の割合

4 指導計画（16時間）

段階	配時	学習活動と内容	教師の支援												
つかかむ	3 ①	<p>1 小石原焼と小石原に出会う。</p> <p>(1) 小石原焼に出会う。 ○小石原焼とほかの焼き物との比較 ○小石原焼の特徴 ○焼き物の存在と、焼き物の原料 ○焼き物の作り方</p> <p>(2) 小石原地区の様子をつかむ。 ○地理的な位置 ○地形（山あい） ○広さ（鳥飼校区との比較） ○村の様子（写真）</p> <p>① 2 小石原焼と小石原について調べ、学習問題をつくる。 (1) 資料を見て小石原焼と小石原について調べる。 ○小石原焼の技法（とびかんな）とその特徴的な模様 ○人口や周辺環境 ○小石原窯元マップ ○小石原焼のあゆみ（326年前から作られている）</p> <p>(2) 資料をもとに学習問題をつくる。 ○資料をもとにした疑問や、もっと知りたいこと ○学習問題を一人一人が作成 ○二人組での対話活動 ・整理 ・付加 ・修正 ○全体で学習問題についての話し合い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(学習問題) 小石原ではどうして焼き物作りがさかんなのだろう。</p> </div> <p>① 3 学習問題のこたえを予想し、3つの追究の視点を明らかにする。 (1) 学習問題のこたえを予想する。 ○今までの資料から学習問題のこたえの予想 ○二人組での対話活動 ・整理 ・付加 ・修正 ○全体で予想についての話し合い ○予想を大きく3つに分類</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">予想①</th> <th style="width: 33%;">予想②</th> <th style="width: 33%;">予想③</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>焼き物作りに必要な土・木など、原料になる自然が小石原にたくさんあるから。</td> <td>窯元さんたちが、工夫や努力をして焼き物作りを続けてきたから。</td> <td>小石原焼が長く続いたり、発展したりするように村の人が協力しているから。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 調べていくこと（追究の視点）を考える。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">視点①</th> <th style="width: 33%;">視点②</th> <th style="width: 33%;">視点③</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・土の採集 ・まきの使用 ・土以外に必要な原料 ・焼き物作りに適した土地</td> <td>・小石原焼の作り方 ・伝統的な技術技法の習得 ・新しい作品 ・思いや願い</td> <td>・窯元さん以外の人の協力 ・施設づくり ・宣伝活動 ・イベント ・思いや願い</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 自分が調べる視点を決める。 ○調べること、調べる順序</p>	予想①	予想②	予想③	焼き物作りに必要な土・木など、原料になる自然が小石原にたくさんあるから。	窯元さんたちが、工夫や努力をして焼き物作りを続けてきたから。	小石原焼が長く続いたり、発展したりするように村の人が協力しているから。	視点①	視点②	視点③	・土の採集 ・まきの使用 ・土以外に必要な原料 ・焼き物作りに適した土地	・小石原焼の作り方 ・伝統的な技術技法の習得 ・新しい作品 ・思いや願い	・窯元さん以外の人の協力 ・施設づくり ・宣伝活動 ・イベント ・思いや願い	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小石原焼の特徴をつかめるように、他の焼き物と比較させる。</li> <li>○ 焼き物が土から作られていることをつかませるために、焼き物のビデオを見せる。</li> <li>○ 小石原の様子が変わるように、同じ縮尺の写真で鳥飼校区と比べたり、村の様子を映したビデオを見せたりする。</li> <li>○ 小石原焼の高い技術をつかませるために、事前に教師が作った焼き物とHさんが作った小石原焼を提示する。</li> <li>○ 小石原焼がさかんであることに気付かせるために、小石原マップを見せる。</li> <li>○ 小石原焼に長い伝統があることに気付かせるために、小石原焼の年表を提示する。</li> <li>○ 全体で学習問題をつくる前に考えを整理できるように、二人組での対話活動を仕組む。</li> <li>○ 自分の予想について考えを整理できるように、対話活動を仕組む。</li> <li>○ 「原料となる自然」「窯元の工夫や努力」「村の人の協力」の3つに予想を分類できるように、子どもたちから出た予想を板書で整理していく。</li> <li>○ 追究の視点を明確にできるように、自分の予想をはっきりさせるためには、何について調べていったらよいか考えさせる。</li> <li>○ 子どもたちが意欲的に調べられるように、一番調べたいことから調べるよう、追究の視点を決めさせる。</li> </ul>
予想①	予想②	予想③													
焼き物作りに必要な土・木など、原料になる自然が小石原にたくさんあるから。	窯元さんたちが、工夫や努力をして焼き物作りを続けてきたから。	小石原焼が長く続いたり、発展したりするように村の人が協力しているから。													
視点①	視点②	視点③													
・土の採集 ・まきの使用 ・土以外に必要な原料 ・焼き物作りに適した土地	・小石原焼の作り方 ・伝統的な技術技法の習得 ・新しい作品 ・思いや願い	・窯元さん以外の人の協力 ・施設づくり ・宣伝活動 ・イベント ・思いや願い													
さぐる	8 ②	<p>4 追究の視点に沿って調べ、自分の考えをつくる。 (1) 資料をもとに調べる。 ○原料 ○作り方 ○道具 ○窯元の技術 ○村の人の取り組み など</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子どもたちが意欲的に調べられるように、教室に情報コーナーを設置したり、資料の準備をしたりする。</li> </ul>												

さ ぐ る ／ ま と め る	<p>② (2) 小石原の様子を見学・調査する。 ○窯元のHさん → 技法, 道具, 原料, 思いや願い ○役場 → 村の人の協力, 施設, 広報, 思いや願い ○販売店 → 作品見学, お客さん, 買い物体験</p> <p>② (3) 同じ予想の子ども同士で話し合う。 ○視点の分類・確認, 学習問題のこたえの確かめ ○不十分な点の補充</p> <p>② (4) 話し合いの準備をする。 ○表現物づくり ○発表内容 ○発言の順番</p> <p>3 5 学習問題のこたえについて話し合う。</p> <p>① (1) 「原料となる自然」グループの発表を聞き, 学習問題のこたえについて話し合う。 ①「自然」グループの発表 ②質問, 付け加え, 意見</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・陶土…皿山で採れる 土を砕いて陶土にする</li> <li>・まき…焼くために必要な木がたくさんある</li> <li>・上薬…わら灰(田)・木灰(木)・長石・さび土</li> </ul> </div> <p>③学習問題のこたえについての話し合い 小石原焼がさかんなのは豊かな自然があるから</p> <p>① (2) 「窯元さんの工夫や努力」グループの発表を聞き, 学習問題のこたえについて話し合う。 ①「窯元さんの工夫や努力」グループの発表 ②質問, 付け加え, 意見</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製造工程…菊ねりから焼きあげるまで</li> <li>・高い技術を習得する努力…伝統の技を守る</li> <li>・道具の工夫…電動ろくろ・ガス窯・こねる機械</li> <li>・新しい作品…時代に合った作品・求められる作品</li> <li>・思いや願い…伝統を守りたい・つなぎたい</li> </ul> </div> <p>③学習問題のこたえについての話し合い 小石原焼がさかんなのは窯元の工夫・努力があるから</p> <p>④2つの視点の関連についての話し合い ・自然を生かすために窯元さんは知恵を出している</p> <p>① (3) 「村の人の協力」グループの発表を聞き, 学習問題のこたえについて話し合う。 ①「村の人の協力」グループの発表 ②質問, 付け加え, 意見</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント…「民陶祭」から「民陶むら祭」へ 絵皿コンテスト</li> <li>・施設づくり…伝統産業会館・道の駅・ギャラリー</li> <li>・広報活動…△△△△会・ポスター・ホームページ</li> </ul> </div> <p>③学習問題のこたえについての話し合い 小石原焼がさかんなのは村の人の協力があるから</p> <p>④3つの視点の関連についての話し合い (学習問題のこたえ) 小石原で焼き物作りがさかんなのは, 自然を生かしながら昔ながらの技術を守り育ててきた窯元さんたちの工夫や努力と, 焼き物で村を発展させていこうとする村の人の協力があったからである。小石原の人びとは, 小石原焼に誇りを持ち, 大切に思いながら, 小石原焼とともに生活している。</p>	<p>○ 見学してわかったことを記入しやすいように, 「小石原焼を調べるぞカード」を準備する。</p> <p>○ 適切に調べ活動ができるように, 子どもたちに伝えてもらいたいことについて, 事前に打ち合わせておく。</p> <p>○ 小石原焼に対する愛着をもつことができるように, 小石原焼買い物体験をさせる。</p> <p>○ 効率的な発表ができるように調べてわかった事実を, 追究の視点ごとに整理させ, 発表の準備や資料の準備をさせる。</p> <p>○ わかりやすく発表できるように, 資料を見せながら発表させる。</p> <p>○ 事実をもとにした話し合いが深まるように, 小石原に関する資料は教室に掲示しておく。</p> <p>○ 調べた事実を全体で共有するために, 質問や付け加え, 意見の交流をさせる。</p> <p>○ 考えを高めさせるために, 学習問題のこたえになるか話し合わせたり, 事実と事実の関連について話し合わせたりする。</p> <p>○ 「原料となる自然」と「窯元さんの工夫や努力」の関連について視覚的にとらえることができるように, 2つの視点を線で結んだ図を板書に示す。</p> <p>○ 3つの視点の関連について視覚的にとらえることができるように, 前時に板書した図に「村の人の協力」を付け加える作業を仕組む。</p> <p>○ 学習問題のこたえを文章で考えやすくするために, 図を参考にするとよいことを助言する。</p>
	<p>2 6 「小石原焼新聞」を作る。</p> <p>① (1) 小石原焼について伝える新聞作りに取り組む。</p> <p>① (2) 新聞を見合い, 小石原焼の意味や役割を話し合う。</p>	<p>○ 小石原焼の知識や考えたことを整理できるように新聞にまとめ, 友達同士で見合わせる。</p>

## 第4学年 本時指導案

### 1 本時 「『村の人の協力』グループの発表を聞いて学習問題のこたえをまとめる場面」(14/16) 【コミュニケーション3】

#### 2 本時の目標

- 「村の人の協力」グループの発表を聞いて、小石原焼がさかんになるためには、村の人の協力が必要であることについて理解することができる。
- 「窯元さん」が「自然」を生かして焼き物を作り、「村の人」が売るために協力することで小石原地区で焼き物作りがさかんになっていることを考えることができる。

#### 3 本時の見どころ

本時は、小石原で焼き物作りがさかんなわけについて話し合い、学習問題のこたえをまとめる場面です。「自然」「窯元さん」「村の人」の3つの視点の関連を考える話し合いを通して、本時の目標にせまります。

#### 4 本時指導の考え方

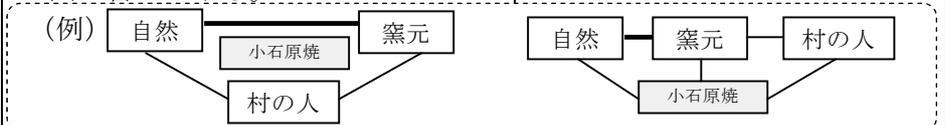
子どもたちは前時まで、学習問題「小石原ではどうして焼き物作りがさかんなのだろう。」のこたえについて、「原料となる自然」「窯元さんの工夫や努力」グループの発表を聞き、それぞれが学習問題のこたえとなることや、「原料となる自然」と「窯元さんの工夫や努力」には関連があることについて理解できている。

本時は、調べたことの発表をもとに、学習問題のこたえを考える3つの場面のうちの最後の場面である。「村の人の協力」グループの発表を聞き、「村の人の協力」という視点が、学習問題のこたえになるかを考え、さらに「原料となる自然」と「窯元さんの工夫や努力」、「村の人の協力」という3つの視点の関連について話し合い、一人一人が学習問題のこたえを導き出すことが主なねらいである。

そこで、本時指導にあたっては、次のような手立てをとりながら学習を展開していく。

- まず、追究の視点③の「村の人の協力」について調べたグループに発表してもらおう。発表した内容は板書で整理し、子どもたちが学習問題のこたえになるかを考えたり、視点同士の関連について考えたりする際に活用できるようにする。また、発表を聞いている子どもたちは、質問や付け加えをしたり、意見交流をしたりしながら、事実をしっかりとおさえる。聞く側に対しては、発表に対する質問や意見を出しやすいように、事前に発表者の提示する資料を見せておき、質問や意見を考えさせておく。質問に対して答えたり、発表内容を付け加えたりする場面では、事実をわかりやすく交流できるように、資料となるグラフや写真などは、教室に掲示したり、事前に子どもに持たせたりしておく。
- 発表が終わった後に、「発表の中でどこが、納得しましたか。」「どれを見ると、学習問題のこたえになっていると言えますか。」と発問し、学習問題のこたえとなる理由について話し合いを行う。学習問題のこたえとなるかどうかの話し合いでは、事実をもとに話し合うようにする。
- 学習問題のこたえになるということを確認した後に、教師は「前の時間に確認した『原料となる自然』と『窯元さんの工夫や努力』、『村の人の協力』は、つながっているといえるでしょうか。」「つながっているとすればどのようなつながりがありますか」という発問をして、3つの視点の関連について考えさせる。この際も、子どもたちの考えが整理され、2つの視点の関連がはっきりするように、線をつないだり、つながりを書き入れたりしながら板書する。
- 関連についての話し合いの最後は、「原料となる自然」と「窯元さんの工夫や努力」、「村の人の協力」が何でつながっているのかを前時のキーワードを使った図に書き加えさせ、視覚的に関連をとらえさせる。さらに、キーワードを使った図を数名に発表させ、学習問題のこたえにせまらせたい。

5 本時の展開

配時	期待する子どもの姿	学習活動と内容	教師の支援
1分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今日で学習問題のこたえがまとまるぞ。楽しみだな。</li> </ul>	<p>1 本時学習のめあてを確かめる。</p> <p>「村の人の協力」グループの発表を聞いて、学習問題のこたえをまとめよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 話し合いが活発になるように、発表で使う資料を事前に見せ、質問や意見を準備させておく。</li> </ul>
15分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 確かに、売る人がいてくれたほうが、もっといい。</li> <li>○ 作るだけでなく、村の人がみんなで協力しているのがよくわかるな。</li> <li>○ 村の人が協力して小石原焼を宣伝したり、広めたりしているから小石原焼が売れるんだな。</li> </ul>	<p>2 「村の人の協力」の発表を聞く。</p> <p>(1) 発表を聞く。  <ul style="list-style-type: none"> <li>○民陶祭から民陶むら祭へ</li> <li>○宣伝活動 ○施設の建設</li> </ul> </p> <p>(2) 質問や付け加え、意見交流をして調べた事実を検討する。</p> <p>【質問】  <ul style="list-style-type: none"> <li>○買う人はどのくらい増えたか</li> </ul> </p> <p>【付け加え】  <ul style="list-style-type: none"> <li>○小学校でも焼き物を利用</li> </ul> </p> <p>【意見】  <ul style="list-style-type: none"> <li>○村の人の思いや願い</li> </ul> </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前時のことを想起しやすいように「原料となる自然」「窯元さんの工夫や努力」グループの発表内容を教室に掲示しておく。</li> <li>○ わかりやすく発表できるように資料を見せながら発表するように助言する。</li> <li>○ 話し合いがしやすいように、発表内容はキーワードなど短い言葉にまとめ、メモもキーワードでとるように助言する。</li> </ul>
10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「村の人」グループの発表も学習問題のこたえになる。</li> <li>○ 村の人も小石原焼を誇りに思い、伝統が続くようにがんばっているんだな。</li> <li>○ きっと自分の住んでいる場所に小石原焼があることを自慢に思っているんじゃないかな。</li> </ul>	<p>3 「村の人の協力」は学習問題のこたえになるか話し合う。</p> <p>(1) 対話活動をする。</p> <p>(2) 全体で話し合う。  <ul style="list-style-type: none"> <li>○発表の中で納得できたこと</li> <li>○こたえの証拠となること</li> </ul> </p> <p>小石原では焼き物が売れるように、村の人たちが協力している。村の人は小石原焼をととても誇りに思っている。村の人たちのおかげで村は発展している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 発表者だけでなく、聞いている子どもたちが質問や付け加え、意見交流をしやすいように、教室に事実となる資料を貼っておく。</li> <li>○ 全員が考えを伝え合う場を設定し、自分の考えを説明したり、友達の考えを聞いたりすることができるように、対話活動を仕組む。</li> </ul>
15分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「窯元」と「村の人」はつながっていると思うよ。だって小石原焼を大切に思うからこそどちらもがんばっているからだ。</li> <li>○ 図にすると3つの視点が全部大切なのがわかる。</li> <li>○ ぼくは図を使うと学習問題のこたえを考えて説明することができるよ。</li> </ul>	<p>4 「原料となる自然」「窯元さんの工夫や努力」「村の人の協力」のつながりについて話し合う。</p> <p>(1) 3つのグループの発表を参考にしてつながりを考える。  <ul style="list-style-type: none"> <li>○事実と事実のつながり</li> <li>○なぜつながっているといえるか</li> </ul> </p> <p>(2) どのようなつながりといえるか、図に書いてみる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 考えを高められるように、どの視点とどの視点が、なぜどのようにつながっていると思うかを話し合わせる。</li> </ul>
4分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ まとめてみると、3つの視点の全部が大切で、それぞれが繋がっているんだね。</li> <li>○ だからこそ福岡県を代表する伝統的工芸品ができるんだな。</li> </ul>	<p>(例)</p>  <p>(3)学習問題のこたえを文でまとめる。</p> <p>小石原で焼き物作りがさかんなのは、自然を生かしながら昔ながらの技術を守り育ててきた窯元さんたちの工夫や努力と、焼き物で村を发展させようとする村の人の協力があったからである。小石原の人たちは、小石原焼を大切に、誇りにしながら小石原焼とともに生活している。</p> <p>5 本時学習をまとめる。  <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の考えの高まり</li> <li>・関連を考える場面から</li> </ul> </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 関係について考えられるように、線はどうしてつながるのかなど、理由を説明させる。</li> <li>○ 自分の書いた図をもとに、学習問題のこたえについて文章でまとめさせる。</li> <li>○ 自分の考えの高まりに気付くように、3つの視点の関連を考えたことについて振り返らせる。</li> </ul>

## 第4学年 本時指導案

- 1 本時 「『原料となる自然』グループの発表を聞いて学習問題のこたえを考える場面」(12/16)  
【コミュニケーション3】

### 2 本時の目標

- 「原料となる自然」グループの発表を聞いて、小石原地区の自然は小石原焼の原料として欠かせないことについて理解することができる。

### 3 本時の見どころ

本時は、「原料となる自然」についての発表を聞いて、学習問題のこたえを考える場面です。調べた事実を効果的に発表したり、「原料となる自然」という視点が学習問題のこたえになるかを話し合ったりすることを通して、本時の目標にせまります。

### 4 本時指導の考え方

子どもたちは前時までに、学習問題「小石原ではどうして焼き物作りがさかんなのだろう。」のこたえについて、「原料となる自然」「窯元さんの工夫や努力」「村の人の協力」の3つの視点で整理しながら調べ活動を行い、視点ごとに発表する準備をしている。

本時は、調べたことの発表をもとに、学習問題のこたえを考える3つの場面のうちの最初の場面である。「原料となる自然」グループの発表を聞き、「原料となる自然」という視点が、学習問題のこたえになるかを考えることが主なねらいである。

そこで、本時指導にあたっては、次のような手立てをとりながら学習を展開していく。

- まず、追究の視点①の「原料となる自然」について調べたグループに発表してもらう。発表した内容は板書で整理し、子どもたちが学習問題のこたえになるといえるかどうか考える際に活用できるようにする。また、発表を聞いている子どもたちは、質問したり、付け加えたり、意見交流をしたりしながら、事実をしっかりとおさえる。聞く側に対しては、発表に対する質問や意見を出しやすいように、事前に発表者の提示する資料を見せておき、質問や意見を考えさせておく。質問に対して答えたり、発表内容を付け加えたりする場面では、事実をわかりやすく交流できるように、資料となるグラフや写真などは教室に掲示したり、事前に子どもに持たせたりしておく。
- 発表が終わった後に、「発表の中でどこが、納得しましたか。」「どれを見ると、学習問題のこたえになっていると言えますか。」と発問し、学習ノートに書かせる。さらに、二人組での対話活動を行って考えを伝え合うことで、全員が発言する機会をつくったり、自分の考えに自信をもったりできるようにする。
- 学習問題のこたえとなるかどうかの話し合いでは、事実をもとに話し合わせるようにする。話し合いの最後には、学習問題のこたえとしてよい理由をまとめ、次時は「窯元さんの工夫や努力」を話し合うことを伝え、次時への意欲を高めたい。最後に、「今日の学習で」を書き、考えが高まったことについて振り返らせ、自分の考えの高まりに気付くようにする。

5 本時の展開

配時	期待する子どもの姿	学習活動と内容	教師の支援
1分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「自然」は学習問題のこたえになるかどうか確かめるぞ。</li> </ul>	<p>1 本時学習のめあてを確かめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「原料となる自然」グループの発表を聞いて、学習問題のこたえを考えよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 話し合いが活発になるように、発表で使う資料を事前に見せ、質問や意見を準備させておく。</li> </ul>
25分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ この土がないと小石原焼はできないといえる。</li> <li>○ 確かに見学に行ったときは周りに木がたくさんあった。あれがまきになって、焼きあげることができるんだ。</li> </ul>	<p>2 「原料となる自然」グループの発表を聞く。</p> <p>(1) 発表を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 陶土がとれる土地               <ul style="list-style-type: none"> <li>・からうすで陶土をつくる</li> </ul> </li> <li>○ まきとなる木も豊富</li> <li>○ 上薬に必要な原料               <ul style="list-style-type: none"> <li>・わら灰</li> <li>・木灰</li> <li>・長石</li> <li>・さび土</li> </ul> </li> </ul> <p>(2) 質問や付け加え、意見交流をして調べた事実を検討する。</p> <p>【質問】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ どのような土が適しているのか</li> <li>○ どの辺で土はとれるんですか</li> </ul> <p>【付け加え】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 土にも小石原独特の特徴がある</li> <li>○ 上薬にはいろいろな種類があって上薬によって色が変わる</li> </ul> <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小石原の土は実は焼き物をする人にとっては難しい土である</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ わかりやすく発表できるように、資料を見せながら発表するように助言する。</li> <li>○ 発表した内容を活用するために、発表で使った資料などは板書として掲示する。</li> <li>○ 話し合いがしやすいように、発表内容はキーワードなど短い言葉にまとめ、メモもキーワードでとるように助言する。</li> <li>○ 納得できたことや質問して確かめたいことなど、自分の考えをつくるために、メモをとりながら聞くように助言する。</li> <li>○ 発表者だけでなく、聞いている子どもたちが質問や付け加え、意見交流をしやすいように、教室に事実となる資料を掲示しておく。</li> </ul>
15分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 焼き物に適した土ってどんな土のことなのかな。</li> <li>○ 焼き物独特のきれいなつやを出すためには上薬が必要なんだな。上薬も自然を原料として作られているんだ。</li> </ul>	<p>3 「原料となる自然」は学習問題のこたえになるかどうか話し合う。</p> <p>(1) 自分の考えを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 発表の中で納得できたこと</li> <li>○ 学習問題のこたえの証拠</li> </ul> <p>(2) 対話活動をする。</p> <p>(3) 全体で話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 発表の中で納得できたこと</li> <li>○ こたえの証拠となること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の考えを一人一人がもつために、まず学習ノートに書く時間をとる。</li> <li>○ 全員が考えを伝え合う場を設定し、自分の考えを説明したり、友達の考えを聞いたりすることができるように、対話活動を仕組む。</li> </ul>
4分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小石原地区は焼き物作りにはとても適した場所だったんだ。だからこそ小石原地区で焼き物作りがさかんになっているということがわかった。</li> </ul>	<p>4 「今日の学習で」を書き、本時学習をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の考えの高まり</li> <li>○ 次時についての予告               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「窯元さんの工夫や努力」の発表</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の考えの高まりに気付くように、授業前と今の小石原焼に対する考えのちがいを書くように助言する。</li> </ul>
15分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「自然」グループの発表は学習問題のこたえになると思います。理由はこの土は小石原にしかないものだからです。</li> <li>○ 私も納得したことがあります。それは上薬のことです。上薬は焼き物に必要で、その原料も自然の中にあるからです。</li> </ul>	<p>3 「原料となる自然」は学習問題のこたえになるかどうか話し合う。</p> <p>(1) 自分の考えを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 発表の中で納得できたこと</li> <li>○ 学習問題のこたえの証拠</li> </ul> <p>(2) 対話活動をする。</p> <p>(3) 全体で話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 発表の中で納得できたこと</li> <li>○ こたえの証拠となること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の考えを一人一人がもつために、まず学習ノートに書く時間をとる。</li> <li>○ 全員が考えを伝え合う場を設定し、自分の考えを説明したり、友達の考えを聞いたりすることができるように、対話活動を仕組む。</li> </ul>
4分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小石原地区は焼き物作りにはとても適した場所だったんだ。だからこそ小石原地区で焼き物作りがさかんになっているということがわかった。</li> </ul>	<p>4 「今日の学習で」を書き、本時学習をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の考えの高まり</li> <li>○ 次時についての予告               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「窯元さんの工夫や努力」の発表</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の考えの高まりに気付くように、授業前と今の小石原焼に対する考えのちがいを書くように助言する。</li> </ul>

## 第4学年 本時指導案

- 1 本時 「『窯元さんの工夫や努力』」グループの発表を聞いて学習問題のこたえを考える場面」  
(13/16)【コミュニケーション3】

### 2 本時の目標

- 「窯元さんの工夫や努力」グループの発表を聞いて、窯元さんの工夫や努力が小石原焼にとって欠かせないものであることについて理解することができる。
- 「窯元さん」が小石原の「自然」を生かして焼き物作りをしているという、「自然」と「窯元さん」の関連について考えることができる。

### 3 本時の見どころ

本時は、「窯元さんの工夫や努力」についての発表を聞いて、学習問題のこたえを考える場面です。調べた事実が学習問題のこたえになるか、また、自然と窯元さんの関連について話し合うことを通して、本時の目標にせまります。

### 4 本時指導の考え方

子どもたちは前時まで、学習問題「小石原ではどうして焼き物作りがさかんなのだろう。」のこたえについて、「原料となる自然」「窯元さんの工夫や努力」「村の人の協力」の3つの視点で調べ活動を行い、1つ目の視点「原料となる自然」についての発表を聞いて、「原料となる自然」は学習問題のこたえになることを確認している。

本時は、調べたことの発表をもとに、学習問題のこたえを考える3つの場面のうちの2つ目の場面である。「窯元さんの工夫や努力」グループの発表を聞き、「窯元さんの工夫や努力」という視点について、学習問題のこたえとしてよいか考え、さらに「自然」と「窯元さんの工夫や努力」という2つの視点の関連について考えることが主なねらいである。

そこで、本時指導にあたっては、次のような手立てをとりながら学習を展開していく。

- まず、追究の視点②の「窯元さんの工夫や努力」について調べたグループに発表してもらう。発表した内容は板書で整理し、子どもたちが学習問題のこたえになるといえるかどうか考えたり、視点同士の関連について考えたりする際に活用できるようにする。また、発表を聞いている子どもたちは、質問したり、付け加えたり、意見交流をしたりしながら、事実をしっかりとおさえる。聞く側に対しては、発表に対する質問や意見を出しやすいように、事前に発表者の提示する資料を見せておき、質問や意見を考えさせておく。質問に対して答えたり、発表内容を付け加えたりする場面では、事実をわかりやすく交流できるように、資料となるグラフや写真を教室に掲示したり、事前に子どもに持たせたりしておく。
- 発表が終わった後に、「発表の中でどこが、納得しましたか。」「どれを見ると、学習問題のこたえになっていると言えますか。」と発問し、学習問題のこたえとなる理由について話し合いを行う。学習問題のこたえとなるかどうかの話し合いでは、事実をもとに話し合わせるようにする。学習問題のこたえになるということを確認した後に、教師は「前の時間に確認した『原料となる自然』と『窯元さんの工夫や努力』は、つながっているといえるでしょうか。」「つながっているとすればどのようなつながりがありますか。」という発問をして、2つの視点の関連について考えさせる。この際も、子どもたちの考えが整理され、2つの視点の関連がはっきりとするように、線でつないだり、つながりを書き入れたりしながら板書する。
- 関連についての話し合いの最後は、「原料となる自然」と「窯元さんの工夫や努力」がなぜつながっているのかをキーワードを使った図でまとめ、視覚的に関連をとらえさせる。最後に、「今日の学習で」を書き、考えが高まったことについて振り返らせ、次時への意欲を高めたい。

5 本時の展開

配時	期待する子どもの姿	学習活動と内容	教師の支援
1分	○ 窯元さんは小石原焼がさかんになるために、どんなことをしているのか確かめるぞ。	1 本時学習のめあてを確かめる。 「窯元さんの工夫や努力」グループの発表を聞いて、学習問題のこたえを考えよう。	○ 話し合いが活発になるように、発表で使う資料を事前に見せ、質問や意見を準備させておく。
20分	○ 一つ一つの作業の中に窯元さんの工夫も努力もたくさん入っているのがわかるぞ。 ○ どうやってあんなに上手にお皿を作れるようになるのだろう。どこかに教えてくれるところがあるのかな。 ○ 時代に合った作品作りをしているのは長く小石原焼が続いてきた理由だな。	2 「窯元さんの工夫や努力」の発表を聞く。 (1) 発表を聞く。 ○ 作り方 ・ 菊ねり→形をつくる→もようをつける→天日干し→上薬かけ→焼く ○ 作りやすくする工夫 ・ 電動ろくろ ・ ガス窯 ・ 粘土をこねる機械 ○ 窯元さんの思いや願い ・ 伝統を守りたいという思い ・ 喜んでもらいたいという願い (2) 質問や付け加え、意見交流をして調べた事実を検討する。 【質問】 ○ 何年くらい修行するのか 【付け加え】 ○ 時代にあった作品作り 【意見】 ○ 自然を上手に利用している	○ 前時のことを想起しやすいように、「原料となる自然」グループの発表内容を教室に掲示しておく。 ○ わかりやすく発表できるように、資料を見せながら発表するように助言する。 ○ 発表した内容を活用するために、発表で使った資料などは板書として掲示する。 ○ 話し合いがしやすいように、発表内容はキーワードなど短い言葉にまとめ、メモもキーワードでとるように助言する。 ○ 納得できたことや質問して確かめたいことなど、自分の考えをつくるためにメモをとりながら聞くよう助言する。 ○ 発表者だけでなく、聞いている子どもたちが質問や付け加え、意見交流をしやすいように、教室に事実となる資料を掲示しておく。 ○ 全員が考えを伝え合う場を設定し、自分の考えを説明したり、友達の考えを聞いたりすることができるように、対話活動を仕組む。
8分	○ 「窯元」グループの発表も納得できました。窯元さんの努力や工夫がないと小石原焼はこんなに長く続かなかつたし、さかんにならなかったと思います。	3 「窯元さんの工夫や努力」は学習問題のこたえになるか話し合う。 (1) 対話活動をする。 (2) 全体で話し合う。 ○ 発表の中で納得できたこと ○ こたえの証拠となること 小石原には焼き物作りに熱心に取り組み窯元さんがいる。326年の伝統を守るために努力したり、買う人のことを考えた作品作りのために工夫したりする窯元さんのおかげで、小石原焼はさかんになった。	○ 自然と窯元の関連について視覚的にとらえることができるように、板書を有効に使い、キーワードを線で結んだり言葉でつないだりする。 ○ 2つの視点の関連についてとらえるために、2つの視点がなぜつながっていると言えるのかを、発言するように助言する。
12分	○ 「自然」と「窯元」はつながっていると思うよ。だってどちらがなくても小石原焼はできないから。 ○ 原料となる土も大切だけど、自然を原料として上薬を作ったところが窯元さんの知恵だ。	4 「自然」と「窯元」のつながりを話し合う。 ○ 事実と事実のつながり ○ なぜつながっていると言えるか 原料となる自然 — 窯元さんの工夫や努力 小石原には焼き物作りに適した自然があった。そして、窯元さんたちがその自然を生かす努力をしたからこそ、小石原焼ができる。小石原の自然を焼き物作りに生かした窯元さんたちの知恵や工夫と努力はすばらしい。	○ 自分の考えの高まりに気付くように、関連を話し合った場面から、つながりを意識できたか振り返らせる。
4分	○ はじめは自然が大切だと思ったけど、窯元さんもとても大切だと思った。	5 本時学習をまとめる。 ○ 自分の考えの高まり ・ 関連を考える場面から	

